

## 【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-82  
補助事業名 平成26年度 グローバル経済下における競争条件の変化と  
ビジネス展開に関する調査研究補助事業  
補助事業者名 一般財団法人機械振興協会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

本事業は、各種実態調査の結果に基づき、わが国機械工業の競争力強化に向けた中堅・中小企業の具体的役割や環境変化に応じた海外進出成功条件を検討することにより、グローバル経済化におけるわが国機械工業の強化・発展を志向するものである。

また、特に地域経済において重きをなす自動車産業については、近年顕在化しつつあるサプライヤーシステムの構造変化に関する実証的な分析検討を併せ行い、自動車関連中堅・中小企業が今後採るべきグローバル戦略(国内事業所の再位置づけを含む)についての実践的示唆を引き出すことを企図している。

#### (2) 実施内容

##### ① グローバル経済下における競争条件の変化とビジネス展開に関する調査

グローバル経済下における競争条件の変化とビジネス展開に関する調査研究

([http://www.jspmi.or.jp/system/l\\_cont.php?ctid=120205&rid=1177](http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=120205&rid=1177))

本調査研究事業においては、事前の計画にある「海外展開」のあり方・分析を行う前に、自動車技術において必須となる「エレクトロニクス化」(以下カーエレクトロニクス化)の動きと、中小企業も含めたその影響を分析することに努めることが必須であると考えた。

従って、当初予定の委員会を2本から1本に変更し、委員会活動も大きく展開して調査の遂行、分析活動に務めた。

具体的には、カーエレクトロニクス化に関する①文献調査、②資料調査等に基づく自動車メーカー、同部品サプライヤーの活動概要の統計的整理や、③国内自動車・同部品企業へのヒアリング調査、④自動車、電機関連企業へのアンケート調査、加えて⑤自動車産業の有識者からなる調査研究委員会を発足し、議論を重ね、これらの調査研究結果と報告書『自動車産業のエレクトロニクス化と部品取引の変化』としてまとめた。

### 2 予想される事業実施効果

本調査研究は、自動車産業における「エレクトロニクス化」(以下カーエレクトロニクス化)がどのように部品サプライヤーに影響を及ぼすかに着目したものである。「カーエレクトロニクス化」がどのように部品サプライヤーに影響を及ぼすかに着目したものである。「カーエレクトロニクス化」がどのように部品サプライヤーに影響を及ぼすかに着目したものである。

「トロンクス化」については古くから指摘されていたが、関連サプライヤーへの影響に照準を合わせた調査事業は他例がなく、報告書等へのアクセスが増えるものと想定される。中でも、本調査では部品サプライヤーへのヒアリング調査を展開していることから、系列の色が濃い国内自動車産業にとっては他企業の戦略、動向を参照する報告書として活用されるものと想定される。

また、中小企業を含む部品サプライヤーにとっては、本報告を参照する結果として、「カーエレクトロニクス化」によって国内自動車産業が大きく変化しつつあることへの注意喚起を促し、今後の自社戦略策定において活用されることが期待される。

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの



報告書『自動車産業のエレクトロニクス化と部品取引の変化』



報告会テキスト・パンフレット(東京都港区)

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 機械振興協会

(イッパンザイダンホウジン キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

代表者： 会長 庄山 悦彦 (ショウヤマ エツヒコ)

担当部署： 経済研究所 調査研究部 (ケイザイケンキュウショ チョウサケンキュウブ)

担当者名： 研究副主幹 太田 志乃 (ケンキュウフクシュカン オオタシノ)

電話番号 : 03-3434-8251 (半角)

F A X : 03-3434-3696 (半角)

E-mail : [kikaku@eri.jspmi.or.jp](mailto:kikaku@eri.jspmi.or.jp)

U R L : [http://www.jspmi.or.jp/system/top\\_all.php](http://www.jspmi.or.jp/system/top_all.php)